# 令和８年度日米共同統合演習（実動演習）について（ＫＳ２７）

**【演習の目的】**

各種事態における日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米共同統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

**【演習の沿革】**

日米共同統合演習は昭和６０年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は実動演習であり、今回で１８回目の実施となります。

**【演習の実施場所】**

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

**【演習の実施期間】**

令和８年１０月１９日（月）から１０月２９日（木）までの間（本実施期間の前後 約１週間（基準）で準備期間及び撤収期間を設定）で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

**【演習の内容】**

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊及び米軍の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性及び日米間の連携能力を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。なお、本演習の一部に同志国軍が参加（オブザーバー含む。）します。

# 令和８年度日米共同統合演習（実動演習）について




## 水陸両用作戦




## 空挺作戦




## 海上作戦



## 統合防空ミサイル防衛






## 共同統合対艦戦闘





## その他関連する訓練（日本全国各地）

- 情報戦
- 統合後方運用（輸送・補給、衛生等）
- 陸上作戦
  重要施設等防護（基地警備等）
- サイバー攻撃等対処
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信






# 令和８年度日米共同統合演習（実動演習）の京都府内における訓練について

本演習において京都府内で実施する訓練は、

① 通信訓練
② 統合防空ミサイル防衛（高射部隊等の機動展開訓練）
③ 重要施設等防護（共同／協同基地等警備訓練）

を予定しています。訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。

# 京都府内で実施を計画している訓練内容
# ①　通信訓練

陸上自衛隊の部隊が日本海沿岸部に展開し、各部隊による通信訓練を実施します。
なお、実弾及び空砲は使用しません。

【期　　間】令和８年１０月１９日（月）～２９日（木）※訓練期間を通じて夜間訓練を実施予定。
【参加部隊】陸上自衛隊：第３師団　約１８５名（車両　約６０両、ＵＨ－１ヘリコプター１機）※夜間は飛行しません。

**訓練予定場所**




**訓練イメージ**





# 京都府内で実施を計画している訓練内容
# ③　重要施設等防護（共同／協同基地等警備訓練）

陸上自衛隊の部隊が米軍及び空自基地に展開し、各部隊による基地等警備訓練を実施します。
なお、実弾は使用しません（空包は使用いたします。）。

【期　　間】令和８年１０月１９日（月）～２９日（木）　※　訓練期間を通じて夜間訓練を実施予定。
【参加部隊】陸上自衛隊：第３師団　　約２２０名（車両　約８０両）※短ＳＡＭ、大型車両を含みます。
（ＵＨ－１ヘリコプター　１機）※夜間は飛行しません。
航空自衛隊：第３５警戒隊　　約　５０名
米陸軍：第１４ミサイル防衛中隊　　約　２０名

**訓練予定場所**







**訓練イメージ**

